

# 教育のひろば

令和7年4月、添田・中元寺・落合・真木・津野の町内5つの小学校を統合し、新「添田小学校」が開校しました。校舎も新しくなるのと同時に、スクールバスの運行も始まり、大きな変化の年となっています。

今月は、添田小学校で目指す子どもの姿や実現に向けた取り組みなどを添田小学校の中山博紀校長が紹介します。

■ 園 教育委員会学校教育課学校教育係（☎82・5963）

「自ら学び 心豊かで  
たくましく生きる 子ども」  
を目指して

添田町第6次総合計画では、10年後のありたい姿として「いつまでも健康で住み続けられる・住みたくな



添田小学校 DATA  
1年生46人 2年生52人 3年生46人  
4年生63人 5年生48人 6年生63人  
全校生徒318人

るまち」を掲げています。人口減少や少子高齢化などの課題を踏まえ、社会人になっても、添田町に愛着を持ち続け、地域の活動に参画し、にぎわいづくりや安全・安心なまちづくりに貢献できるような児童の育成が求められています。その素地をつくるのが小学校の役割であり、責務の一つであると考えています。こうした役割や責務、子どもたちの実態などを踏まえ、小学校では教育目標を次のように設定しました。

自ら学び 心豊かで  
たくましく生きる 子どもの育成  
「いい声、いい顔、いい心」

学校が、先ほど述べたような役割

を果たす上では、数値として目に見える学力を向上させることとあわせて、目には見えなくても、重要な要素となる学ぶ意欲や仲間と協力して問題を解決する力など、いわゆる「非認知能力」と言われる力の育成が欠かせません。

豊かな体験活動  
「ふるさと学習」

「見えない学力（非認知能力）」は「見える学力」を支える重要な基盤となります。学ぶ意欲やあきらめずに根気強く取り組む態度、仲間と協

力して問題を解決する力などは、教科等の授業だけでは育成することが困難です。さまざまな体験を通じた育成が必要となります。また、こうした体験活動を通して、ふるさと添田町を愛する心を育みたいと考え、小学校では、左に示すような体験活動を行っています。

読書は豊かな心や想像力を育むと同時に、言語力の向上にも効果があるとされています。また、新校

具体的には、日々の授業の中で、すべての子どもたちが学びへ参画し、ともに学び合い、学ぶ意欲をもって粘り強く問題解決に取り組むことを目指して取り組んでいます。



心を耕す「読書活動」

舎になり、図書室も新しくなって、蔵書数も増えました。昼休みや清掃後の「昼読書」の間等も活用し、年間一人平均50冊以上を目標として、読書活動を推進しています。

学びの力を支える  
「体力づくり」

体力向上を目指し、運動に取り組むやすい環境を整え、「サーキットトレーニング」などの活動を推進しています。体力の向上は、学ぶ意欲や粘り強く取り組む態度などの「見えない学力（非認知能力）」の育成にもつながると考えています。

## 添田の自然や歴史を学ぶ「ふるさと学習」

ゲストティーチャーによる  
生き物の学習  
「添田町の生き物にふれよう」

ゲストティーチャーとして英彦山青年の家職員を講師に町の生き物について知ったり触れたりする学習。添田公園内に生息する生き物を調べ、観察しました。



添田町の名産を知る  
「しいたけ名人への道」

ゲストティーチャーとして藤川椎茸園の藤川徹さん（枳田）を迎え、椎茸づくりの話を聞いたり、原木へのコマ打ち体験をしました。



4年生 米作り体験「おいしい添田町のお米」



ゲストティーチャーに田中隆信さん（添田西）を迎え、育苗、田植えから稲刈りまで自分たちで行うことで「お米の大切さ」などを学びました。

長期宿泊体験学習  
「添田町の魅力アピール大作戦」

英彦山青年の家で、4泊5日の長期宿泊体験学習。英彦山での野外活動や星空教室、野外調理などを通して、英彦山の自然のすばらしさを知るとともに、仲間との絆を深めます。また、福岡教育大学の学生をスタッフとして招き、交流を深めます。

町内の歴史・文化施設などを  
見学・調査する学習  
「伝えよう！添田の歴史・文化遺産」

タブレットを使って町の歴史や文化財の保全方法などをまとめ、発表します。今年は県の文化財に指定されている、上中元寺地区の薬師堂内に鎮座している木造薬師如来坐像や諏訪神社境内に生育しているイチイガシなどを調べました。



6年生

開校当初は、学校の統合という大きな環境の変化に、子どもたちも戸惑いや不安があったようです。しかし開校から半年が経過し、仲間と一緒に過ごす学校での生活や先生方の支援により、少しずつ人間関係も築かれてきています。

新校舎では、木材がふんだんに使われています。その多くが添田町の山々から伐採したスギやヒノキです。「環境が人を育てる」とも言いますが、木の香りや温かさ、柔らかさは、子どもたちの「優しさ」や「あたたかさ」「素直さ」「おだやかさ」などの心情を育む上でも、効果があると考えています。

子どもは「地域の宝」です。今後の添田町を担い、地域のよさを引き出し、課題を解決するのは、今の子どもたちです。今後も「見える学力」と「見えない学力（非認知能力）」を両輪としつつ、ふるさと添田町を愛し、地域の活動に参画して貢献できるよう、添田小学校職員一同、全力を尽くして参ります。今後とも、ご支援・ご協力のほど、お願いいたします。

中山博紀 添田小学校校長  
PROFILE

平成11年赤池町立市場小学校教諭任命。その後、添田小学校教諭、福岡県教育庁教育振興部義務教育課などを経て、令和3年添田小学校の教頭に就任。令和5年福岡教育大学附属小倉小学校教頭の後、令和7年、添田小学校初代校長に就任。

